

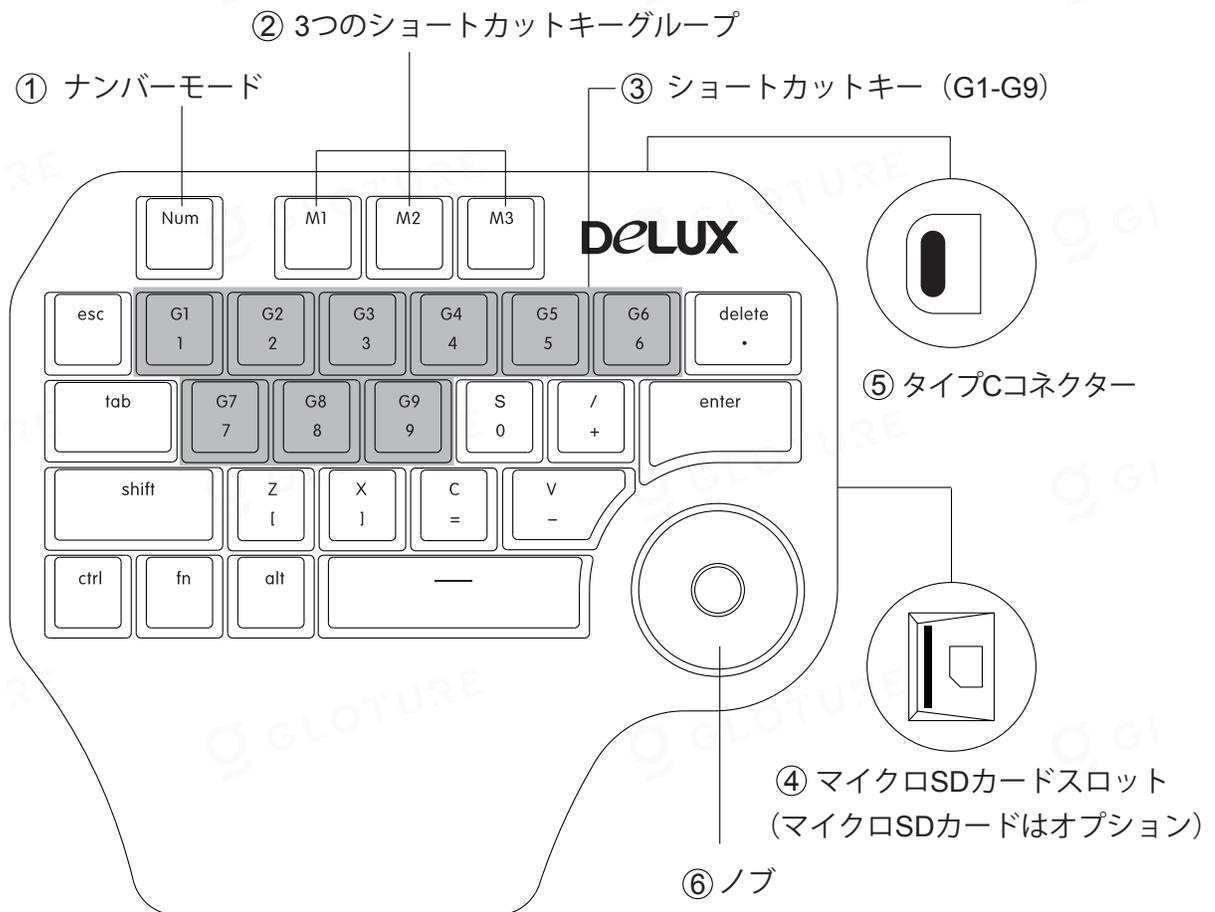
**USER
MANUAL**



Gkey-Cad

導入

Gkey-Cadはコンパクトな片手操作キーボードです。デザイン業務や写真撮影に従事する方々のために開発されました。カスタマイズ可能なショートカットキーグループが3つあり(M1、M2、M3)、各グループには9つのショートカットキー(G1-G9)が含まれています。設定後、フルインストラクションをタイプすることなく、ボタン一つで操作が可能です。マルチ機能ノブは、上下に回す、左右に回す、拡大、縮小、ページアップ、ページダウン、音量調節、明るさ調節などの機能を持っています。

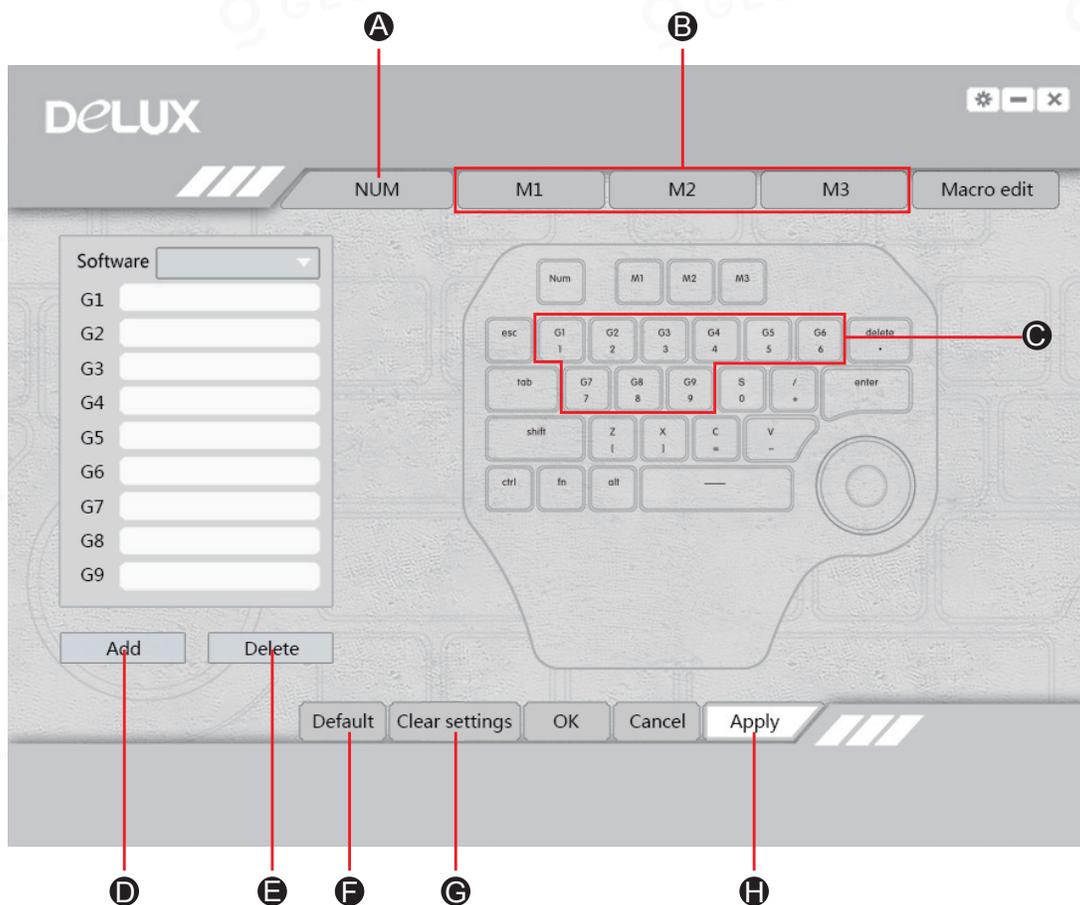


- ① ナンバーモード: 「Num」を押してナンバーモードに入ると、「Num」のバックライトが点灯し、1から0までの数字ボタンが使用可能になります。
- ② ショートカットキーモード: 「M1」を押してM1モードに入ると、M1のバックライトが点灯します。M1、M2、M3モードは自由に切り替え可能です。
- ③ G1-G9: ボタンを一つ押すだけで、フルの指示を入力することなく操作ができます。

- ④ マイクロSDスロット:マイクロSDカードにおけるデータの読み込みと保存に対応。
- ⑤ タイプC:USBとタイプCのコネクタが両端についたケーブルを使用し、コンピュータとGkey-Cadを接続。
- ⑥ ノブ:ノブの中央ボタンを1秒間長押しすると、ノブ設定操作インターフェースが起動します。

ドライバー

<http://www.deluxworld.com> からドライバをダウンロードし、機能設定を行ってください。

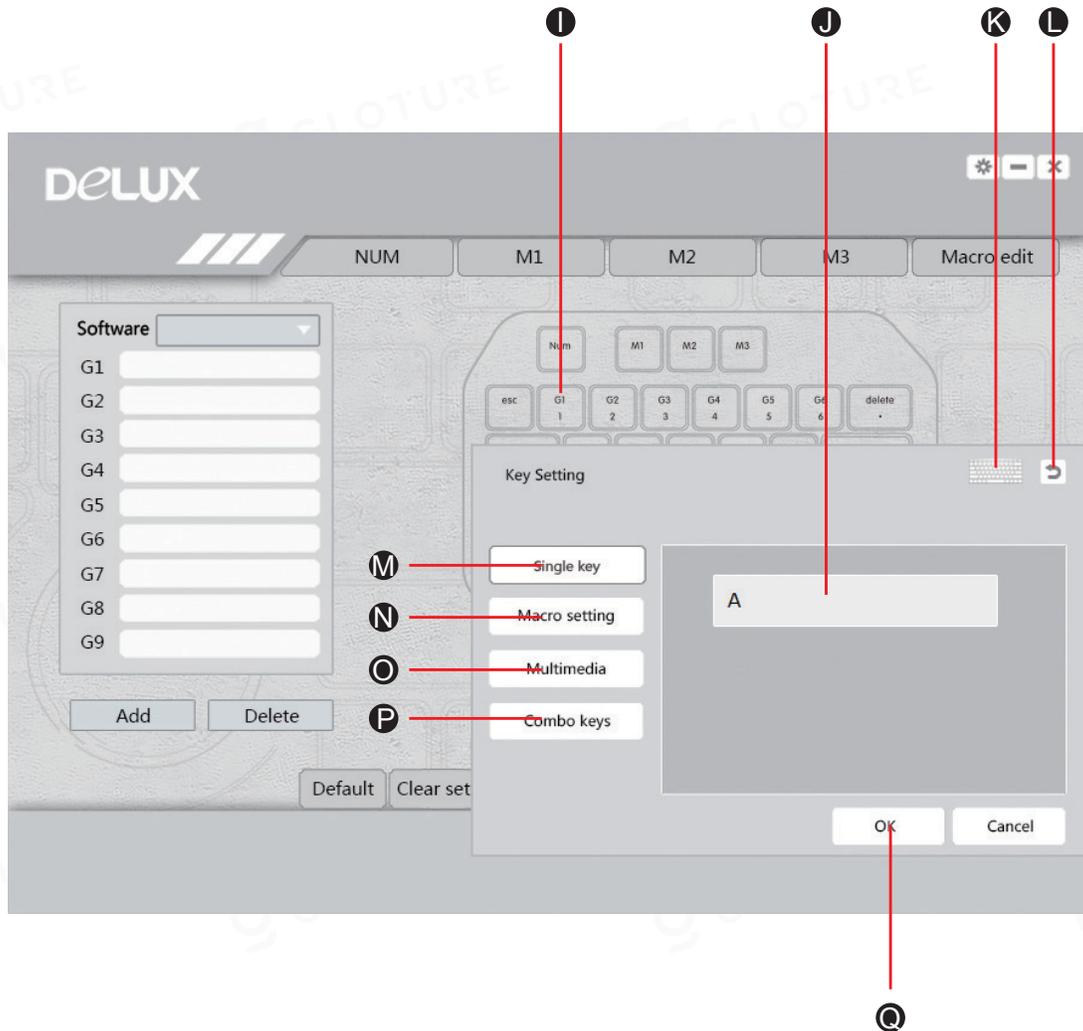


NUMモード「A」では、G1-G9「C」にカスタマイズされた設定がない場合、デフォルトの機能は第二行の文字(数字および記号)を参照してください。G1/1ボタンを押すと1が出力され、G2/2ボタンを押すと2が出力されます。NUM、M1、M2、M3モード「B」は自由に切り替え可能です。

ドライバには13種類のデザインソフトウェア用のプリセットショートカットキーがあります。プリセット「E」の編集や削除が可能で、「追加」(D)をクリックすることで新しいソフトウェア設定を追加できます。

設定後、「適用」をクリックして設定を有効にします。どのモードでも、「設定をクリア」(G)をクリックすると設定がクリアされ、「デフォルト」をクリックすると設定が工場出荷時のデフォルトに戻ります。

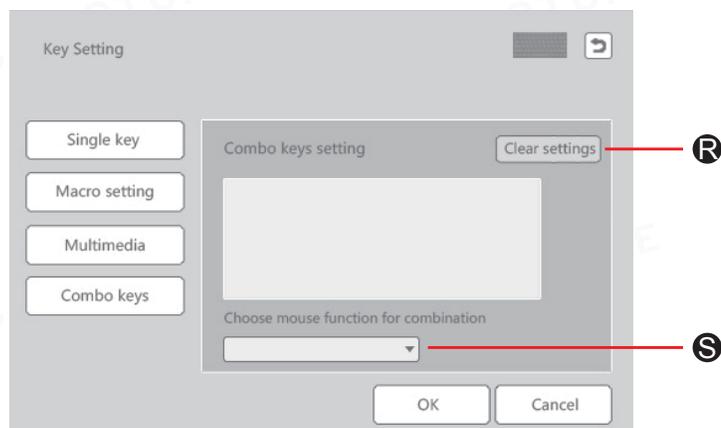
カスタマイズ可能なキー：G1-G9、Delete、S、I、Z、X、C、V。これらのキーをクリックすると、設定ウィンドウが表示されます。



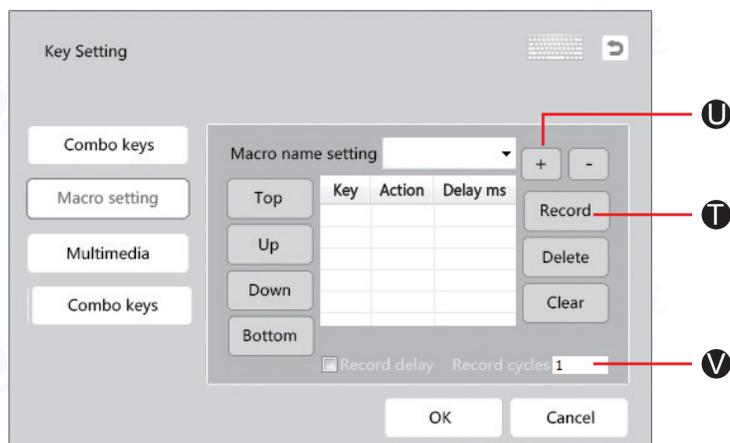
キー設定について、単一キー(M)、マクロ(N)、マルチメディアおよびコンボキー(P)を設定できます。(K)またはFn + Ctrlをクリックしてソフトキーボードを起動します。ソフトキーボード上の任意のキーをクリックすると、空白スペースに表示されます。

リセットが必要な場合は、再度設定を行い、設定が完了したらウィンドウを閉じて次のボタンの設定に進むことができます。

コンボキー(P)：コンボを変更したい場合は、「設定をクリア」(R)をクリックし、必要なキーを入力します。また、(S)をクリックしてマウス機能をコンボに追加することもできます。



マクロ(N)：「録画」(T)をクリックしてウィンドウにアクションを追加し、+ または - (U)をクリックして新しいアクションを追加するか、アクションを削除します。ボタンを一つ押すだけで、フルの指示を入力することなく操作ができます。記録遅延と記録サイクル(V)は設定可能です。



マルチメディア(O)：「マルチメディア」をクリックして、特定のキーにマルチメディア機能を設定します。

バックライトモード

Fn+M1：固定バックライト

Fn+M2：呼吸ライト

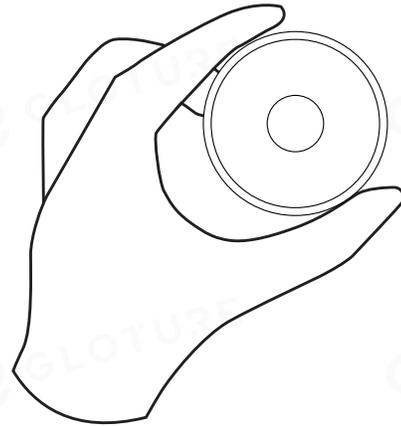
Fn+M3：単一キーバックライト

ノブの仕様

1. ノブ: ノブの中央ボタンを1秒間押すか、ドライバーのノブの中央ボタンをクリックして、ノブの機能設定インターフェイスをアクティブにします(ドライバーの実行後にのみアクティブになります)。インターフェイスは右下隅に表示され、インターフェイスの中心をクリックしてドラッグすることでマウスで移動できます。ノブを回転するか、マウスをクリックして機能を選択できます。

2. ノブを回して機能を選択した後、ノブの中央ボタンを押すか、キーボードの「Enter」を押して確定します(マウスをクリックして機能を選択した場合は、それ以上の操作は必要ありません)。もう一度中央のボタンを押すと、機能を再選択できます。

3. ノブ機能



360°思いのまま多機能回転ボタン

ノブを軽く回すだけで、ソフトウェアビューを自由にズーム、さらに他の機能も簡単かつ迅速に実現

